

マダニ感染死 広島でも

国内4人目 昨夏、成人男性

広島県は19日、県内の成人男性が昨年夏、マダニが媒介するウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群」(SFTS)で死亡したと発表した。国内での死亡確認は山口県の成人女性1人、愛媛、宮崎両県の成人男性各1人に続いて4人目。

(27面に関連記事)

広島県健康対策課によると、男性は昨年夏

に38度以上の高熱や吐血、下血、血小板と白血球の減少といった症状が出て、約10日後に亡くなった。最近の海外渡航歴はなかった。マダニにかまれた痕はなかったが、症状が厚生労働省の示すSFTS患者の要件に合致したことから男性の主治医が県に連絡。県が凍結保存されていた患者の血液を国立感染症

研究所(東京)に送り、同研究所が18日、ウイルスを確認した。これまで国内で見つかったウイルスと遺伝子配列が似ており、男性は国内で感染したと

みられる。厚生労働省などは、1月に山口県で死亡例が判明して以降、似た症状が出た患者の情報を全国から収集。感染の疑いが強く血液試料がある

る事例を詳しく検査している。19日時点で9人分が結果待ちで、国内感染の確認例は増える可能性が高い。

政府は19日、SFTSを、診断した医師に保健所への報告を義務付ける感染症法の4類感染症に、原因ウイルスを、研究機関などが所持する場合に届け出が必要な3種病原体に指定することを閣議決定した。

(荒木紀貴、新本恭子)

を持つマダニにかまれることで感染。6〜14日程度の潜伏期間を経て発症するとされる。国内で死亡が確認された4人には、いずれも最近の海外渡航歴はなかった。

クリック

重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 2011年に初めて特定されたSFTSウイルスが引き起こす病気。ウイルスは国内に以前から存在し、ウイルス

買物不便や空き家増 広島市対策に本



高齢化が進む住宅団地の暮らしやすさを高めるため、広島市は団地住民や学識経験者、

民間事業者たちによる研究会を組織し、本格的な対策検討に乗り出す。19日の市議会定例会の総括質問で、松井一実市長が答えた。一部の団地では意識調査にも着手。「団地再生」を目指す。

研究会は10人程度を想定し、企画調整課に事務局を置く。新年度なるべく早い時期の立ち上げを予定し、買物の不便や空き家の増加、コミュニティの弱体化など、団地の抱える問題をまず抽

広島1人感染死 対策は



SFTSウイルスを媒介するマダニ(広島県保健環境センター提供)

長袖着て肌の露出防ぐ 入浴でマダニ洗い流す

山や草地に広く生息するマダニが媒介する新型のウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」で広島県内に住む成人男性の死亡が19日、確認された。感染を防ぐにはどうすればいいのか11面関連。(新本恭子、村田拓也)

3人の子どもを持つ「えない」と、親の不安を県内7保健所で受け付け、感染が疑われる症状がある人を指定19病院で治療する態勢を確認した。

広島県PTA連合会副会長の平田誠治さん

(49) 福山市は「子どもにも『マダニがいるか』緊急対策会議を開き、

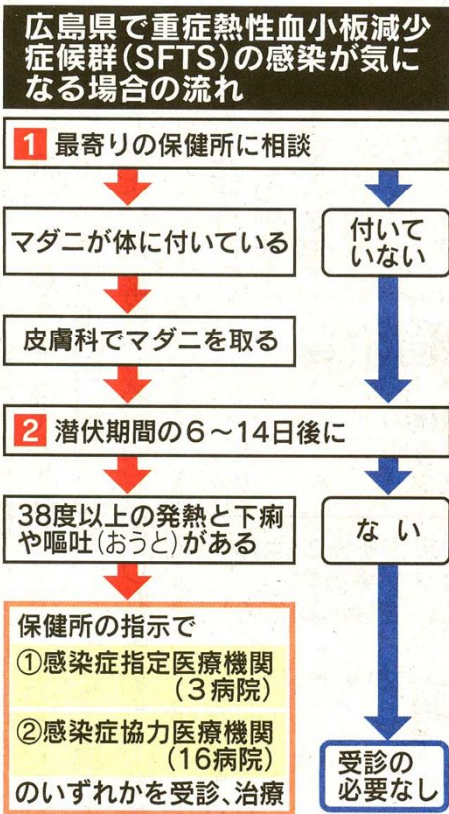
「外に出るな」とは言

「外に出るな」とは言

広島県の対策会議でSFTSの症状などについて説明する大毛教授(奥左から2人目)



付着時は皮膚科に



ない。会議に出席した
広島大病院の大毛宏喜
教授（細菌学）は「治
療は抗生剤の投与や
輸血などの対症療法に
限られる」と話す。死
亡した人に最近の渡航
歴はなく、以前から国
内に広まっていた可
能性がある。どう感染
を防ぐかが重要にな
る。

県保健環境センター
（広島市南区）保健研
究部でマダニを研究す
る高尾信一副部長は、
①山や畑に入る時は長
袖、長ズボンで肌を出
さない②帰宅後に衣服
をはたく③入浴でマダ
ニを洗い流す④衣服は
すぐに洗濯するの4
点を助言する。
マダニは屋内にいる

イエダニより大型で、
成虫は血を吸う前の体
長が3〜4ミ。4〜11
月が活動期だ。「マダ
ニが服に付いても血を
吸うまで2〜3時間か
かる。しっかり対策を
すれば、かなりの確率
で感染を防げる」と高
尾副部長。体に付いた
場合、自分で取ると頭
部が体内に残ること

があるため皮膚科を受
診するよう呼び掛け
る。
昆虫の生息調査のた
め全国の野山を回る広
島市昆虫館の坂本充学
芸員は「マダニはどこ
にでもいる。付きにく
いナイロン製の服を選
び、裾は靴下の中に入
れ込んで自衛してい
る」と助言する。